

ECOスタイル™を実現する家電技術

Technologies Realizing eco style™ Home Appliances

巻頭言

エコで快適な家電を支える新技術へのチャレンジ

Challenging New Technologies to Create Eco-Friendly Home Appliances for Comfortable Lifestyles

家庭生活においてもっとも身近で不可欠な家電製品は、ユーザーの生活の基盤を、文字どおり電気を使って快適にしてきました。そうしたなかで、東芝の家電部門を統括する東芝コンシューマエレクトロニクス・ホールディングス(株)は、2008年に、新たなコンセプト“ecoスタイル™”を提案しました。それは、「自分らしく快適に暮らしながら、いつのまにかエコな毎日になっている」というライフスタイルです。このecoスタイル™は、2010年6月に、東芝グループの環境経営のグローバル統一ブランドとなり、このコンセプトの位置づけと重要性は飛躍的に高まりました。そして、家電は東芝グループ環境経営の重要な一翼を担い、大きな貢献をすることが期待されています。

当社はecoスタイル™をコンセプトに掲げ、それを実現する省エネでかつ快適な家電製品を数多く市場にデビューさせてきました。それを支えたのが東芝のオンリーワン技術です。例を挙げれば、冷蔵庫のツイン冷却技術、洗濯乾燥機の変換磁力モータ技術やアクティブサスペンション技術、エアコンのデュアルコンプレッサ技術、そしてこれらの家電製品に搭載されたピコイオン除菌技術などです。また、一般白熱電球の製造を他社に先駆けて終息し、省エネで長寿命なLED(発光ダイオード)照明の商品化と市場拡大にいち早く取り組み、リードしてきました。これを支えたのが東芝独自の放熱技術や回路の小型化技術です。今後も、エコで快適な家電製品を支える新技術を創出し続け、更に進化したecoスタイル™を実現する商品を提案してまいります。

この特集では、エコで快適な東芝の家電製品を支えてきた技術のトレンドと、最新のecoスタイル™商品に採用された新技術の一端を紹介いたします。



辰巳 光好
TATSUMI Mitsuyoshi